

中小企業のリスキリング DXを担う人材の育て方

リクルートワークス研究所
大嶋寧子

リクルートワークス研究所とは

リクルートワークス研究所は、「一人ひとりが生き生きと働ける次世代社会の創造」を使命に掲げている研究機関です

活動内容

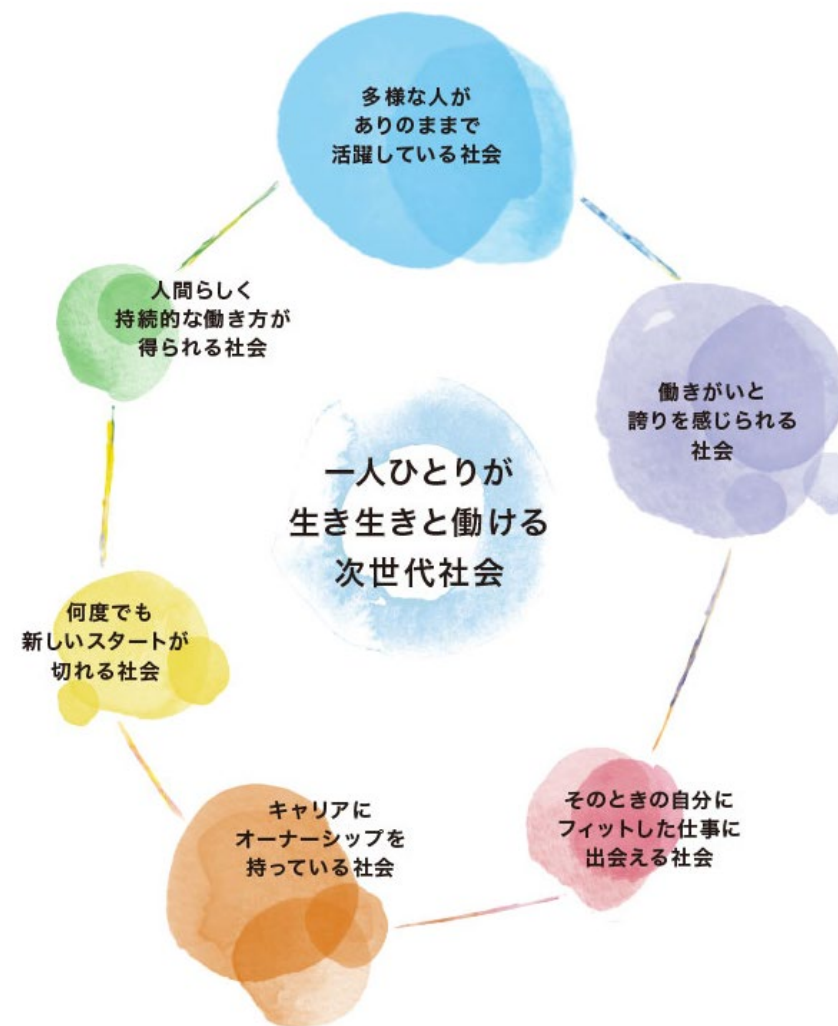
■ 研究

労働政策・労働市場に関する研究
組織人事に関する研究
個人のキャリアと学びに関する研究
人材ビジネスに関する研究

■ 調査分析

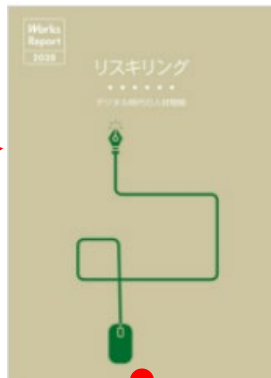
「全国就業実態パネル調査」の実施

■ 機関誌『Works』の発行



リスキングに関する研究

2020年10月発刊



2021年4月
中小企業のリスキング研究始動



2020年4月
リスキング研究
始動



DX時代のリスキング



企業が経営戦略上の成長を遂げる時、その企業内の人材はどのような力を、またどのようなスキルを必要とするのか（リスキング）する必要がある。DX時代にはいかに人材、多くの企業でリスキングが急務である。リスキングとは何なのか、いかに進めるのかを明らかにする。

コンテンツ

- DX時代のリスキング
- DX時代のリスキング
- DX時代のリスキング
- DX時代のリスキング
- DX時代のリスキング



2021年3月発刊

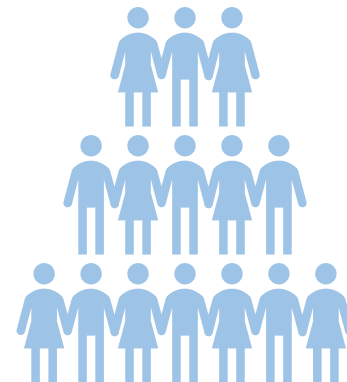


2021年12月発刊

2022年3月発刊



本日のシンポジウム



リスクリングとは何か

企業がDXに取り組む時、従業員によく起こること



「配車や決済の新しい仕組みが導入されたけれど、よく使い方がわからない。結局、お客さんに、地図アプリで道案内してもらった

会社から新しいシステムを使えと言われるけど、ものすごく使いにくい。お客さんが待っているし、これまでのやり方でやるしかない。



企業がDXに取り組む時、従業員によく起こること



「DXって担当部署がやることでしょう。自分には関係ないことだよね」

社長がデジタル領域に事業をシフトすると言っているけど、自分は今の仕事のままなんとか乗り切りたい



従業員がスキルの面
でついてこない

その時に必要になるのが
リスキリング

リスキリングとは、すべての従業員が新しい仕事のやり方、職務内容に適応し、価値を生み出しつづけるための取り組み

事業のために、今必要なスキルの習得である

システムの開発を担うエンジニアやデータサイエンティストなど、一部の高度な専門性を持つ人材の育成とは分けて考える



日本におけるリスキングの動き

- 2020年初のリスキング

Google検索：1470件（2020年5月）

- 2022年現在のリスキング

Google検索：61.3万件（2020年3月）

- では、中小企業はどうか

中小企業は リスキリングに どう取り組んでいるのか



Recruit Works Institute
人事戦略「働き方革命」を加速する
リソース・ノウハウの集約地

福利厚生 | メールマガジン | お問い合わせ

研究領域 | 研究プロジェクト | 報告書・論文 | 調査 | 事例・コラム

中小企業で進む リスキリングのリアル

デジタル技術によるビジネスモデル変革を目指す中小企業が増えているが、その成功を人材面で支えるのが従業員のリスキリングである。
先行する企業は従業員のリスキリングをどう進めたのか。その実態を探る。

<p>vol.10</p>  <p>2022年01月06日</p> <p>株式会社エルアンドエー：デジタルツールは使う人が「正義」。便利さを実証すれば、人は自ら学び始める</p>	<p>vol.9</p>  <p>2021年12月03日</p> <p>船山建設株式会社：経営者主導で全員の知識を高め、スクラムでデジタルを使いこなす企業を目指す</p>	<p>vol.8</p>  <p>2021年10月26日</p> <p>西川コミュニケーションズ株式会社：経営者がDXの方向を示し、学びを支援することが、リスキリングする組織を創る</p>
<p>vol.7</p>  <p>2021年10月12日</p> <p>株式会社BUKI：意識改革には時間がかかる。変化を恐れない人材は「スモールステップ」で育てる</p>	<p>vol.6</p>  <p>2021年10月12日</p> <p>さくらCSホールディングス株式会社：ありたい姿を思い描きながら、実践を通じてデジタルを身につける職場づくり</p>	<p>vol.5</p>  <p>2021年10月08日</p> <p>久野全業工業株式会社：「自分の仕事を自動化できる」可能性が、社員の提案力を高める</p>
<p>vol.4</p>  <p>2021年09月12日</p> <p>株式会社船屋：例年寸前の老舗旅館。データを使いこなす接客人材を育てた経営者と女将の取り組みとは</p>	<p>vol.3</p>  <p>2021年09月13日</p> <p>HILLTOP株式会社：「人を育てる」使命を追求した。DXにたどり着いた。働く仕事は機械任せ、10年先のビジネスを探る</p>	<p>vol.2</p>  <p>2021年09月13日</p> <p>株式会社ヤマウチ：社員が本気で使えるデジタル化が、主体的なリスキリングの出発点</p>
<p>vol.1</p> 		

中小企業のリスキング = 1 + 3

経営者の リスキ ング (1つ)

従業員のリスキング (3つ)

1. 使いこなしのリスキング

従業員が新たな業務プロセスに習熟し、
価値創造できるようにする

2. 変化創造のリスキング

従業員自らデジタル技術の活用方法を描き、
推進できるようにする

3. 仕事転換のリスキング

DXの進化に伴い、従業員がこれまでと
全く異なる仕事に転換できるようにする

Decide
基本のスタンス
を固める

Prepare
従業員のマイ
ドセットを作る

Create
実践的な学習
機会を創出する

Accelerate
学習を
加速させる

Install
組織風土に
落とし込む

1 + 3 : 経営者のリスクリング

経営者自身が昨今のデジタルに関する基本的動向を把握し、
自社の「どのような課題」をデジタルで「いかに解決するのか」
の戦略を描くための学び

経営者
の
リスク
リング

従業員のリスクリング

1. 使いこなしのリスクリング
2. 変化創造のリスクリング
3. 仕事転換のリスクリング

1 + 3 : 経営者のリスクリング

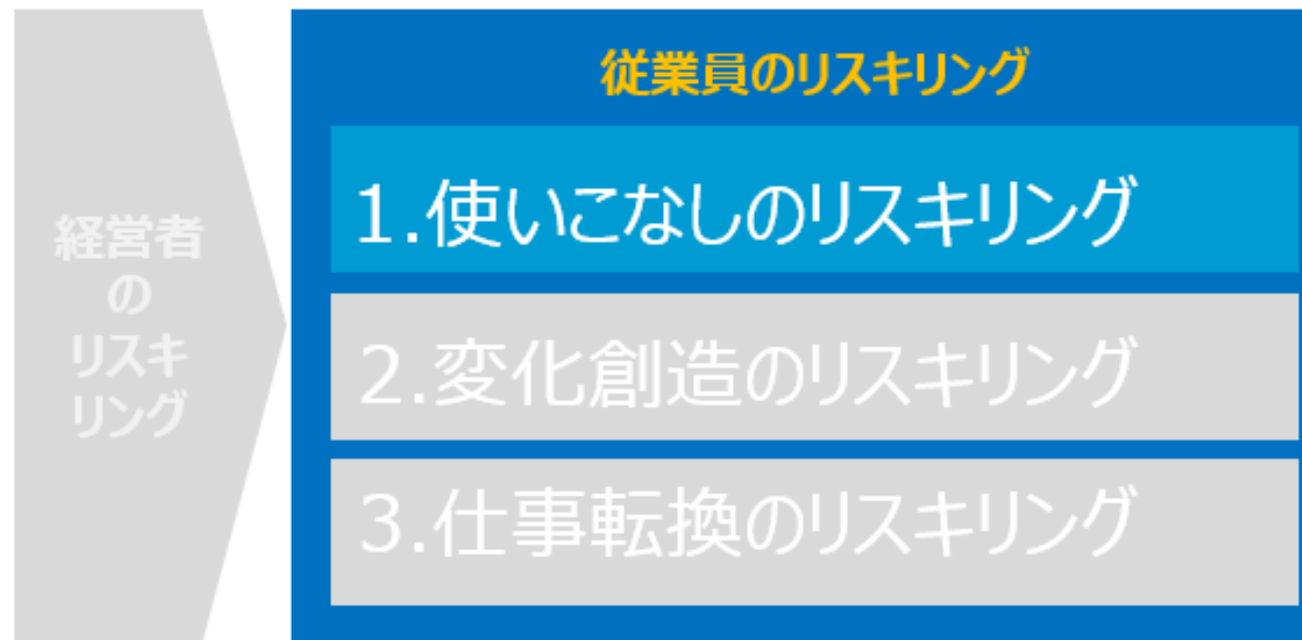
中小企業では、経営者がデジタルの可能性と脅威を理解していないと、デジタル化を進めることは困難

しかし、従業員のリスクリングと異なり、経営者のリスクリングには何をどう学ぶべきかの指針がない

デジタルで何をつくりたいのか、何を実現したいのかのビジョン策定にフォーカスして学ぶ必要

1 + 3 : 使いこなしのリスクリング

従業員が新たな業務プロセスに習熟し、価値創造できるようにするためのリスクリング

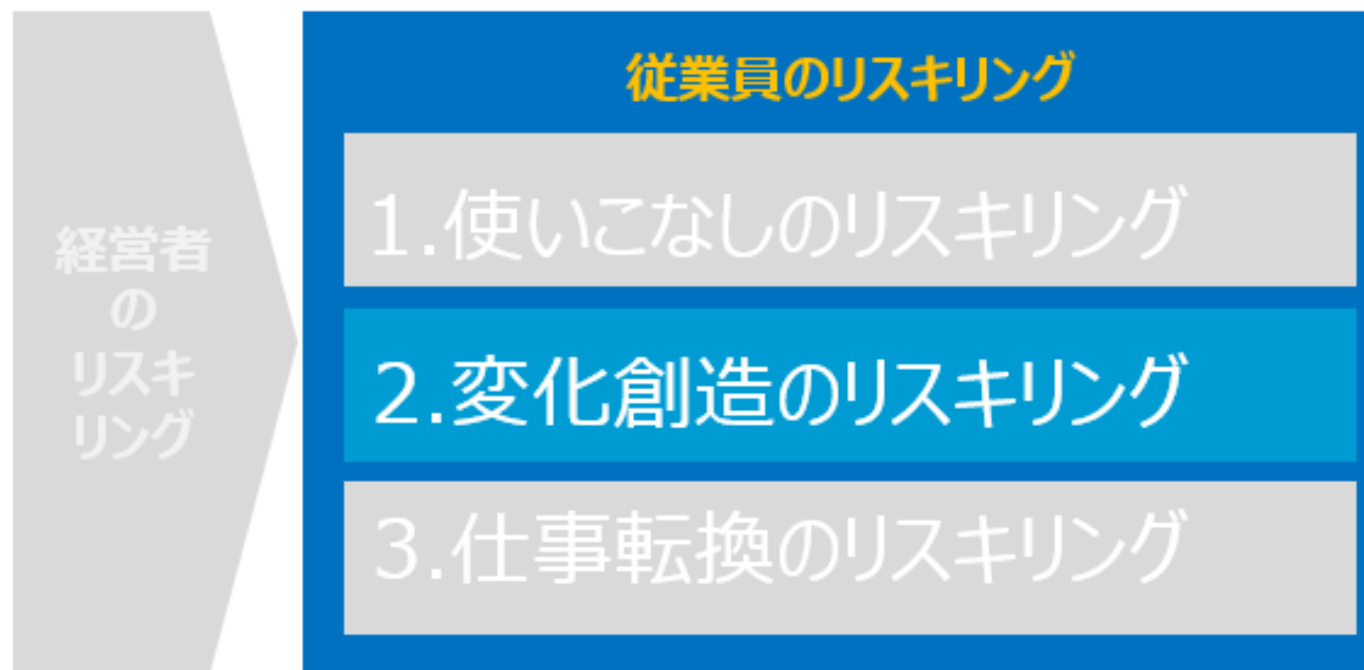


1 + 3 : 使いこなしのリスクリング

- 従業員がデジタルツールを使いこなせなければ、今目指す変革も、その後のより本格的なDXも実現困難
- 従業員の不安や不満に向き合い、デジタルのメリットを実感できるように導入する

1 + 3 : 変化創造のリスクリング

現場を知る多くの従業員が
デジタルによる課題解決を提案、
推進できるようにする

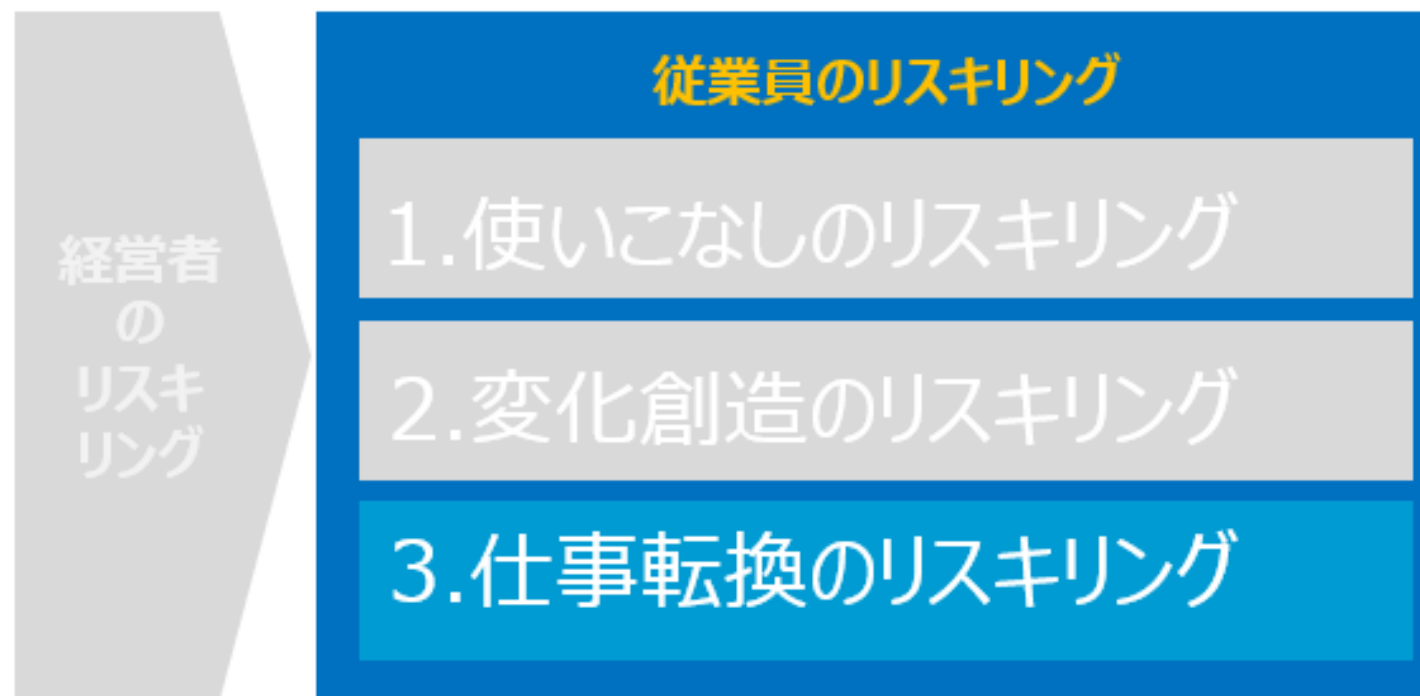


1 + 3 : 変化創造のリスキリング

- 「デジタルで何を変えるべきか」の種は、業務課題や顧客の不満に接する現場の従業員が握る
- 大小のデジタル化のプロジェクトを、人材育成の機会として最大限活用すべし

1 + 3 : 仕事転換のリスクリング

DXの進化に伴い、従業員がこれまでと全く異なる仕事に転換できるようにする



1 + 3 : 仕事転換のリスキリング

- 従業員が新たなスキルを習得し、実践で活用できるようにすることがゴール
- ゴールまでのステップを設計し、効果検証と改善を繰り返す

これからリスキリングに取り組む際に
重要なこと

「今、自社はどのリスクリングが
必要なのか」に向き合う

リスキリングで会社は何を
手にするのか

多くの従業員が

- デジタル活用のメリットを理解する組織
- 自分の仕事の課題をデジタルで解決する方法をイメージできる組織
- 日常的・継続的に学び続け、変化に適応し続けることが当たり前と考える組織

リスキリング

= 変化に強い組織と個人を作る

取り組み

ご清聴ありがとうございました